

## &lt;別紙1&gt;

## 第三者評価結果報告書

## ①第三者評価機関名

株式会社R-CORPORATION

## ②施設・事業所情報

名称：アプリコット保育園246	種別：地域型保育事業(居宅訪問型保育事業除く)	
代表者氏名：松浦 和子	定員(利用人数)：10名	
所在地：〒213-0001 川崎市高津区溝口3-21-11		
TEL：044-281-4600	ホームページ：https://hoiku246.ed.jp/	
【施設・事業所の概要】		
開設年月日：2017年04月01日		
経営法人・設置主体(法人名等)：株式会社アプリコット倶楽部		
職員数	常勤職員：4名	非常勤職員：6名
専門職員	(専門職の名称)：名	
	家庭的保育者：2名	保育士：4名
	子育て支援員：1名	
施設・設備 の概要	(居室数)	(設備等)
	保育室1室	調理室
		テラス

## ③理念・基本方針

## &lt;理念&gt;

家庭的な雰囲気の中で、子ども一人ひとりの思いを受け止め、子どもからも保護者からも信頼される居心地の良い園を目指します。

## &lt;基本方針&gt;

十分に養護の行き届いた家庭的で暖かい雰囲気の中で、一人ひとりの子どもの個性を大切にしながら、将来を生き抜くたくましい心と体づくりをします。

## &lt;保育目標&gt;

知的・道徳的・身体的発達的基础が作られる、大切な時期の保育を進めていきます。

- 健康で元気に活動する力を育てる
- 自分で考えて行動する力を育てる
- 豊かでおもいやりのある優しい心を育てる

#### ④施設・事業所の特徴的な取組

＜アプリコット保育園246の特徴的な取り組み＞

- 経験豊富な保育者が、大切な子どもをきめ細やかに愛情をそそぎ、愛される喜びを十分に感じられる保育を目指しています。
- 晴れた日は近隣の公園に出かけ、体力作りに力を入れています。室内遊びでは、マットや手作りの積み木・知育玩具など様々な遊具で手足の運動遊びをして、楽しく過ごしています。
- 毎日、笑顔あふれる園生活が送れるように配慮し、子どもたちの小さな成長も保護者と一緒に喜び、共有できるようにしています。

#### ⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	2021年05月07日（契約日） ～ 2021年08月30日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	初回（ 年度）

#### ⑥総評

【アプリコット保育園246の概要】

●アプリコット保育園246は、株式会社アプリコット倶楽部（以下、法人という）が開設・運営している保育園です。法人は、2015年7月設立され、不動産の売買・賃貸・管理・保有等を主たる事業としていますが、地元へ社会貢献したい、また、色々な人が交流できるような施設を創造したいという代表の想いから、不動産事業と福祉事業を同じ施設で展開する工夫により実現しています。アプリコット保育園246は、そうした施設の一つです。園の建物は、法人が運営しているシェアハウス&ゲストハウス「スミタス溝ノ口」も同居し、一つの玄関から子どもと大人が共存し、色々な人々との交流が成されています。

●アプリコット保育園246は、2017年4月1日に開園し、園児は2才までの小規模保育事業C型の保育園です。なお、法人は、2020年4月1日に高津区久本でも「あぶりこつと保育園エミタス久本」を開園しており、5才までの保育園とし、建物は全館を保育園として使用し、一部を地域にも開放しています。

●アプリコット保育園246は、東急田園都市線溝の口駅・JR南武線武蔵溝ノ口駅より徒歩10分程度、近くには人工用水路「ニヶ領用水（にかりょうようすい）」が流れ、近隣はマンションや民家が建ち並ぶ住宅地に位置しています。建物は重量鉄骨造3階建てで、シェアハウス&ゲストハウス「スミタス溝ノ口」の1階部分の一部が保育園スペースになっています。建物の出入りロドア及び玄関は共用ですが、出入りロドアは施錠されており、シェアハウス住人、もしくは内部から許可された者しか入室できないようセキュリティを万全にしています。玄関も共有ですが、保育室側ドアにはさらに別の施錠がされており、シェアハウス住人でも入室はできないようになっています。保育室は約35平方メートルを確保し、保育スペースに接する形でトイレ、キッチン、事務室が設置されています。保育室は南面側に面しており、採光は十分確保され、明るい保育園です。

◇特に評価の高い点

1. 【少人数ならではの家庭的保育】

●アプリコット保育園246では、1つの保育スペースにおいて、子ども10人（0才～2才。なお、2021年度は0才児の在籍なし）を、通常時4人の職員が保育に当たっていま

す。1人の職員が、「担当」として関わる子どもは2～3人にしていますが、同じ室内なので、全職員が全員の子どもの見守る環境にあります。保育スペースの使い方としては、(1)全面を使ってみんなで同じことをする、(2)仕切りボードや遊具でエリア分けをして年齢ごとで遊ぶ、(3)今はちょっと一人で居たい子どものためにコーナーを作ってあげる、等一つのスペースを臨機応変に区分けして工夫・活用がされ、どの場合であっても、同じ場所にみんなが居るという一体感があります。また、1人のスタッフが、「担当」としては2～3人の子どもに関われることで、一人ひとりの子どもと緊密に接する時間を長く取れるというメリットがあります。そのため、(1)子どもの思いをしっかりと受け止められる、(2)今はみんなと一緒に活動するのではなく、自分のことをしたいといった欲求にも応えてあげられる、(3)その子の表情、動き、様子を常に見て、変化にも気づける、等のメリットがあります。少人数ならではの家庭的な保育が実施できているのが最大の特長だと言えます。

## 2. 【職員が働きやすい風通しの良い職場】

●アプリコット保育園246は、風通しが良く、職員が働きやすいことが特長の1つに挙げられます。開園した4年前、初期スタッフとして集まった職員には、(1)地元、近隣の人である、(2)元々知り合い同士が在籍している、(3)全員が保育経験者であり、経験値が高い、といった共通点がありました。そして、職員数も10人程度で、意思疎通を図りやすいことも、風通しの良い雰囲気をもたらす要素になっていると考えられます。しかし、働きやすく、風通しの良い風土は、園長が推進してきた尽力も大きくあります。(1)みんなで話し合う、(2)色々なことをオープンにしていく、(3)自由に発言してもらい、(4)情報をみんなで共有する。園長は、このような方針を掲げ、職員に呼びかけて推進を図ってきました。園長と職員が、共にこの方針を進めてきたことで、風通しが良く、和気あいあいとコミュニケーションが取れる職場が出来上がったと言えます。コミュニケーションが円滑に図れることで、「働きやすい」、「この園に愛着を感じる」、「ここで長く働き続けたい」と感じる職員が増えた所以です。子どもは、大人の感情をすぐ感じ取る力を持っています。アプリコット保育園246の職員は、楽しい、元気、伸び伸び、意気揚々、といった感情が表れており、それが子どもたちにも伝わり、子どもたちも、楽しい表情で、元気良く過ごすことができている。職員が働きやすいことで、子どもたちも伸び伸びと成長するという効果が生まれています。

### ◇改善を求められる点

#### 1. 【職員間における「見える化」の推進】

●アプリコット保育園246は、開園4年目に入ったところですが、上述したように、(1)継続して働いている職員が多い、(2)入社した時点で既に長い保育経験を有している、(3)全員で話し合い、情報を共有しながら活動を進めている、という特長があります。このため、保育の方法、行事の取り組み方、保護者への対応、ケガ・事故の予防、起きた時の対処等々について、職員間で共通理解が出来ています。また、職員は、そうした共通の対応を出来るだけの知識、技能を持っています。こうした知識、技能は、「暗黙知」と言えるものですが、これが成立しているため、アプリコット保育園246では、これまで詳細なマニュアル類は必ずしも必要ではなかったもので、策定されていない、或いは、策定されていても簡易な内容に止まっている、という状況があります。しかしながら、中・長期的に見た場合、現在の職員の中から、退職、異動等も今後、十分予想されます。その時、後任として入職した職員には、現職員が持つ「暗黙知」はありません。新たに着任した職員にも、逸早くアプリコット保育園の保育方法等に慣れてもらうためには、「暗黙知」として共有されている保育の仕方、方法、ノウハウ等を、言語化、見える化をして、マニュアルとしてまとめておくことが望ましいです。暗黙知の言語化、見える

化は、新しい職員にとって役立つだけでなく、今いる職員にとっても、再確認、より正確なレベルでの共通理解にもつながるものですので、第三者評価の評価基準に示されているものから順次策定していくことが望まれます。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

事業者コメント

施設名： 株式会社アプリコット倶楽部 アプリコット保育園246

<評価（自己評価等）に取り組んだ感想>

全保育職員が自己評価を行ったことで、今まで気づき得なかった問題点に気づき、共通認識を持つことができました。

調査員の方に細かな聞き取り・アドバイスをしていただき、多くの事を知り学ぶことができました。

今回の評価を今後の保育に活かしていけるよう努めていきたいと思えます。

<評価後取り組んだ事として>

1. 個人ごとに自己評価を行い、実務に即したものになるよう振り返り改善し、保育の向上に努めて行く。
2. 年度初めに1年間の計画を立て、その計画を保育者間で検討し、中期・年度末に自己反省と話し合いを行っていく。
3. ミーティングで話し合った内容が改善されているか・実行されているか、数か月後にその問題について話し合い振り返る機会を持つ。

⑧第三者評価結果

別紙2のとおり